



麻布出る杭

文科省：
“出る杭プログラム”で
国内唯一採択

日本で唯一



高校生のうちから
大学の教育・研究
をサキドリ！

いのちと共生の
プログラム



学部1年生から
「本物の研究」
に参加！

ジェネプロ



大学院の科目を
学部4年で履修！
修士課程を1年に
短縮するチャンス

大学院 早期履修



麻布大学

〒252-5201

神奈川県相模原市中央区淵野辺1-17-71

☎ 042-754-7111 (代表)

Mail: derukui@azabu-u.ac.jp

HP: <https://www.azabu-u.ac.jp/>

麻布出る杭 ミニポジウム

動物共生科学シネラリスト育成プログラム

知識集約型社会を支える人材育成事業

メニューⅡ

2022年

1月21日(Fri.)
13:30~16:30

主催 麻布大学

後援 文部科学省 (申請中)
「知識集約型社会を支える人材育成事業」

Zoomウェビナー
(先着200名)

<参加申込み>
1月17日(月)
申込締切

<https://forms.gle/nUDuqFhTJBoVMv2R7>



※後日URLをお送りします。

どの社会でも、すべて「人」が考え、計画し、実行します。したがってどのような人を、どのように育てていくのが今後の日本、そして世界のあり方に大きく影響します。では今後、高等教育機関にはどのような教育が求められるのでしょうか？

大学審議会の答申『21世紀の大学像と今後の改革方策について－競争的環境の中で個性が輝く大学－』では「多様化・個性化」という言葉が用いられ、学生が個々の修学状況を理解し、個人が組み立てた科目を進んで学ぶことが記されています。人材育成の拠点は大学であり、これまでの画一的な偏差値偏重になりがちであるとの指摘もあった大学入試は、高等学校のみならず教育全体に大きな影響を及ぼしています。

今後、多様な能力を備えた「出る杭」を伸ばす観点からも、さらに一層入学選抜の内容・方法の改善のみならず、個別の「出る杭」をさらに引き出すような教育体制の確立が急がれています。既存の枠、常識にとらわれない、多くの価値観や向上心から生まれる高い志を持つ多様な背景の若者たちが切磋琢磨する場として開かれた大学こそが人材育成には極めて重要であり、大学院や研究所には、高い国際性が求められています。

今回、このような大学教育のあり方を紹介するとともに、麻布大学が日本で唯一採択された「麻布出る杭」の活動を紹介し、今後の教育のあり方について、ともに考えてみたいと思います。

プログラム (予定)

13:30～13:35

開会あいさつ
(麻布大学学長：川上 泰)

13:35～14:10

基調講演
(東京家政学院大学理事長：吉武 博通 氏)

14:10～14:25

知識集約型社会を支える人材育成事業について
(文部科学省高等教育局大学振興課)

14:25～14:40

プログラム説明
(麻布大学事業計画推進者：菊水 健史 教授)

14:40～15:10

ジェネプロ学生発表
(麻布大学学生)

15:10～15:30 休憩

15:30～15:45

データサイエンス教育について

15:45～16:00

教学IRの必要性について
(大阪大学准教授：和嶋 雄一郎 氏)

16:00～16:25

シンポジストと参加者による意見交換・質疑応答

16:25～16:30

閉会あいさつ
(麻布大学事業計画責任者：村上 賢 教授)



麻布出る杭

とは…?

麻布出る杭プログラムは、文部科学省の「出る杭を引き出す教育プログラム」で採択された「動物共生科学ジェネラリスト育成プログラム」の略称です。

ヒト・動物・環境の持続的健康社会の構築のために世界をリードできる人材の育成を目指します。

「動物生命実践的ジェネラリスト」は、①動物・生命環境科学を専門性をさらに高め、②周辺領域への展開力を兼ね備え、③社会実装や課題解決能力を備えた人材です。このような人材を「**時空間を超えて、個々人の可能性を最大限に伸長する教育**」を通して育てます。

詳しい取り組み内容は
HPよりご確認ください

【麻布出る杭特設サイト】
<https://www.azabuderukui.info/>



【知識集約型社会を支える人材育成事業】
<https://chishiki-syuyaku.jp/>

<問合せ先>

麻布大学 事務局 教務部 教務課

☎ 042-754-7111 (代表) Mail: derukui@azabu-u.ac.jp

 麻布大学